

令和4年度 千歳市市民評価会議議事録

会議名	市民評価会議（第1回）		
日時	令和4年4月19日（火）14：00～15：50	場所	市役所本庁舎2階庁議室
出席者	委員5名、アドバイザー1名、事務局3名		

会議概要	<p>1. 会長及び副会長の選出 会長に山中 明生委員、副会長に増子 洋行委員が選出された。</p> <p>2. 事務局説明 （1）市民による行政評価制度「市民行政アセス」について （2）令和4年度評価作業スケジュールについて （3）施策評価表の見方について （4）対象施策の選定</p> <p>3. 令和4年度「市民行政アセス」対象施策の選定 委員の意見により対象施策を選定した。</p> <p>母子保健対策の充実（保健福祉部母子保健課） ごみの発生抑制とリサイクルの推進（市民環境部環境センター廃棄物対策課） 適正で効率的なごみ収集・処理の推進（市民環境部環境センター廃棄物管理課） 航空機騒音対策及び防衛施設周辺対策の推進（企画部基地政策課） 快適な学校施設の整備（教育部企画総務課） アイヌ文化の保存・継承と普及・啓発の推進（企画部主幹 アイヌ政策推進担当） 優良農地の確保（産業振興部農村整備課） 水道・下水道施設の適切な維持管理の推進（水道局水道整備課） 水道・下水道事業における災害対策の推進（水道局経営管理課） 広域行政の推進（企画部企画課）</p>
------	---

主な質疑・意見等

<p>【委員A】 基本的には、第6期総合計画の期間に評価を行っていない施策を中心に選定したいと考えているが、すでに評価を行った施策でも、見直した方が良いものや市民の関心度が高いものについては選定しても問題ないとする。</p> <p>【委員B】 施策番号25「ごみの発生抑制とリサイクルの推進」と施策番号26「適正で効率的なごみ収集・処理の推進」はどちらも「ごみ」に関する施策である。一緒に評価を行うことはできないのか。</p> <p>【事務局】 ともに環境センターの施策ではあるが、担当課が異なるので、担当に確認する必要がある。可能であれば一緒に実施し、できない場合はどちらかを選定することとなる。</p>
--

【委員 B】

承知した。一緒にできない場合は、施策番号 25「ごみの発生抑制とリサイクルの推進」を優先したい。

【委員 A】

ごみの問題は市民の関心度も高く、SDGs にも繋がることから、選定することとしたい。
施策番号 38「快適な学校施設の整備」は過去に評価を行っているか。

【事務局】

最近は行っていないが、過去に実施したことはある。

【アドバイザー】

GIGA スクール構想に関する施策であり、国が積極的に進めている事案であるため、以前評価した時からの変化は大きいと思う。

【委員 A】

施策番号 38「快適な学校施設の整備」を選定し、GIGA スクール構想の取組結果を含めてヒアリングすることとしたい。

これまで評価をしていない施策番号 3「健康増進・疫病予防対策の充実」と施策 4「母子保健対策の充実」について意見はあるか。

【アドバイザー】

施策番号 3「健康増進・疫病予防対策の充実」は、第 6 期総合計画にある 2 つの施策を 1 つにまとめたものであり、2 つの施策のうち、1 つは過去に実施している。

母子保健の施策については実施していない

【委員 A】

施策 4「母子保健対策の充実」を選定することとしたい。

施策番号 28「航空機騒音対策及び防衛施設周辺対策の推進」についてはいかがか。

【アドバイザー】

第 6 期総合計画では、施策が「航空機騒音対策・移転跡地活用の推進」と「防衛施設周辺対策の推進」に分かれており、「防衛施設周辺対策の推進」については、過去に実施している。

【委員 A】

航空機騒音対策に関する施策は評価していないということなので、選定したい。

施策番号 52「アイヌ文化の保存・継承と普及・啓発の推進」について、最近はアイヌ文化に対する行政の取組も変わってきていると思うので、特に反対がなければ選定したい。

施策番号 55「優良農地の確保」も評価を行っていないので選定したい。

水道についてはいかがか。

【委員 A】

水道局の施策については、できれば施策番号 88「水道・下水道事業における経営基盤の強化」、施策番号 89「水道・下水道施設の適切な維持管理の推進」、施策番号 90「水道・下水道事業における災害対策の推進」の 3 つをまとめて実施したいと考えているが、担当課が異なるため難しいようであれば、いずれかの施策を選定することとしたい。

【事務局】

担当課と調整する。

【委員 A】

施策番号 101「広域行政の推進」についても評価を実施したことがないので選定したい。

【アドバイザー】

この施策は、近隣市町村と連携し、1つの自治体では解決できない課題への対応や行政事務の効率的かつ効果的な運営を目指すというものである。今まで経済施策の評価を実施した際、千歳だけではなく、近隣の市町村と協力した方が良いという話が出ていたが、そこにつながる施策である。

【委員 C】

ここまで意見の出た施策で問題ないと考える。

【事務局】

対象施策については、事務局の方で各担当課と調整する。

後日、調整結果を皆さんにお知らせし、意見を伺った上で今年度の対象施策を決定したいと思うがよろしいか。

異議なし

調整の結果、次の 10 施策に決定した。

なお、環境センターと水道局の施策については、2 施策をまとめて評価することとし、6 月に実施する「説明、ヒアリング、評価・議論」は 1 施策分の時間で実施する。

母子保健対策の充実（保健福祉部母子保健課）

ごみの発生抑制とリサイクルの推進（市民環境部環境センター廃棄物対策課）

適正で効率的なごみ収集・処理の推進（市民環境部環境センター廃棄物管理課）

航空機騒音対策及び防衛施設周辺対策の推進（企画部基地政策課）

快適な学校施設の整備（教育部企画総務課）

アイヌ文化の保存・継承と普及・啓発の推進（企画部主幹 アイヌ政策推進担当）

優良農地の確保（産業振興部農村整備課）

水道・下水道施設の適切な維持管理の推進（水道局水道整備課）

水道・下水道事業における災害対策の推進（水道局経営管理課）

広域行政の推進（企画部企画課）